

千葉県地域少子化対策強化事業実施計画書（市町村分）

都道府県名 千葉県

|            |   |
|------------|---|
| 市 町 村 名    | ( 松戸 ) 市  |
| 事 業 名      | 子どもから広がる地域づくり事業（地域人材育成事業）   |
| 事業の趣旨・目的   | 地域の中で子どもが大人になるまで継続的に見守ることができる人材を育成し、子どもが安心安全に成長できるまちづくりを図ることを目的とする。<br>本事業では、特に結婚・妊娠・出産から育児までの切れ目ない支援を行うために、市内全域に配置した子育て支援拠点の子育てコーディネーター事業や拠点の運営法人と中高との連携による中高生と赤ちゃんのふれあい体験事業など、他に類のない地域内での事業連携を基軸とし、地域社会の中で、子どもが大人になるまで見守ることができる体制づくりのために新たに父親や地域の大人たちによる子育て応援団を組織するための人材育成を図る。  |
| 実 施 期 間    | 平成26年8月1日 ～ 平成27年3月31日  |
| 所 要 見 込 額  | 2,316,000 円   |
| 地域の実情と課題   | ・父親や大学生、地域の人材など多様な人々が連携し、持続的に子どもの成長を支えることができる地域社会づくりが必要である。（詳細は別添資料参照）  |
| 事 業 内 容    | <p>1 結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援を行うための仕組みの構築<br/>                 (1) 子育てコーディネーター事業（既存事業）31,660千円<br/>                 市内全域（19か所）の広場や子育て支援センターに、市の研修を受講し認定した子育てコーディネーターを配置し、相談や子育て支援機関に繋ぐ。また、子育てコーディネーターが中高生とのふれあい体験に協力し将来の結婚・妊娠・出産・育児について考える機会の提供を行う。<br/>                 ○事業の先駆性<br/>                 ・広場は市内全域に配置されており19か所で年間延べ18万人の親子が利用している<br/>                 ・妊娠中の保護者の見学等を積極的に受け入れており、ママパパ学級との連携をしている<br/>                 ・行政や町会、商店、保育所・幼稚園等子育て支援施設と子育て家庭を繋ぐことを目指す<br/>                 ・フォローアップ研修や事業者の情報交換など運営の質の向上に努めている<br/>                 (2) 中高生と赤ちゃんのふれあい体験事業（既存事業）698千円<br/>                 ・市内の中学校、県立高校と連携し中高生が乳幼児の親子と直接ふれあい、命の大切や育児について実際に学ぶことにより、将来の結婚・妊娠・出産・育児について考える機会とする。<br/>                 ○事業の先駆性<br/>                 ・助産師による講義及びふれあい体験を学校の授業時間に組み込んで実施している。<br/>                 ・広場を運営するNPOスタッフ・子育てコーディネーターの協力と参画により、親子と学生が共に安心して事業に参加できる<br/>                 ・子育てコーディネーター<br/>                 ・事業後に中高生が子育て支援拠点を訪問したり、ボランティア活動につながるなどの継続的な交流が図られて地域内での連携が生まれることにより、高校生が結婚から妊娠出産育児に</p> <p>2 結婚に向けた情報提供等<br/>                 中高生と赤ちゃんのふれあい体験事業（再掲・既存事業）<br/>                 ・助産師による講義、実際に子育て中の母親と子どもとふれあうことにより、結婚し家族を持つことの大切さと素晴らしさを感じ、結婚への期待感を持つことができるようになる。</p> <p>3 妊娠・出産に関する情報提供<br/>                 (1) 子育てガイドブック（既存事業）0円<br/>                 19,000部発行 妊娠・出産から育児までの子育て支援情報を網羅的に掲載<br/>                 出生や転入の際に子育て家庭に配布<br/>                 (2) 子育て情報サイト「まつどあ」（既存事業）5,000千円<br/>                 子育て情報のポータルサイト 妊娠・出産から育児まで情報を網羅的に掲載<br/>                 ○事業の先駆性<br/>                 ・登録により子どもの年齢に応じた個人用ページ（MYまつどあ）とメール配信（こどもあ）が利用できる<br/>                 ・子育て中の市民が運営スタッフであり、利用者目線の情報発信を実現している</p> <p>4 結婚・妊娠・出産・育児をしやすい地域づくりに向けた環境整備<br/>                 ●子育てを通じた地域づくり人材育成事業（交付金対象・新規事業）2,316千円<br/>                 父親たちが自らの子育てを通じて、地域社会全体の子育てについて考え、子育て中の家族だけでなく大学生、地域のシニア層を巻き込む子育て支援活動を企画・実施し地域に定着化させることを目標とした活動を行う。<br/>                 ①パパの子育て講座開催 「（仮）パパ出演ですよ！」（1回/月 計6回）<br/>                 対象：子育て中の父親 40名<br/>                 ②地域の大学生ボランティア育成講座（1回/月 計3回）<br/>                 対象：聖徳大学等市内4大学等に在学中の学生 40名<br/>                 ③地域のシニア層の人材育成講座（1回/月 計3回）<br/>                 対象：子ども・子育て支援に意欲のある地域で活躍する人材等 40名<br/>                 ※①～③の講座について相互に連携を図り、さまざまな主体が連携した地域づくりのネットワーク構築をめざすものとする。<br/>                 ④全講座の参加者及び全市民を対象とし事業の主旨を踏まえた先駆的な取り組みを行っている専門家による講演会を開催し、社会的な潮流やニーズに対する意識の共有を計る。（1回）<br/>                 ⑤これらの人材を有機的につなげていくための取り組みとして実際に子どもとふれあうイベントを企画・開催する（1回）<br/>                 ○事業の先駆性<br/>                 ・父親が家事や育児だけでなく子育てを通じて地域づくりに関わる意識と機会を創出する<br/>                 ・子育て支援拠点の活動との連携により子育て中の父親が参加しやすい事業推進ができる<br/>                 ・子育て中の家族だけでなく大学生、地域のシニア層を巻き込んだ活動となる</p> |
| 事業の効果      | 地域社会で子どもが大人になるまで見守ることができる環境づくりができる<br>○アウトカム指標（定量的）父親や地域の大人たちのゆるやかなネットワーク 1件（定性的）将来的なボランティアバンクの創設   |
| 都道府県との連携方法 | 情報発信・PR等の支援、事業認知の拡大   |